

大津町議会 文教厚生常任委員会行政調査報告

氏名 山本 富二夫

視察研修名：大津町議会文教厚生常任委員会行政視察

研 修 先：①大阪府 泉大津市

②大阪府 泉南市

期 日：令和7年10月30日（木）～31日（金）

研修テーマ：①「市立図書館 シープラ」の取り組みについて

②「小規模特認校 市立東小学校」の取り組みについて

研修報告 意見・感想

それぞれの訪問先には、早めに行政視察研修における質問事項をお願いしての訪問。

泉大津市立図書館（シープラ）の第一印象は駅前の一等地にある、元商業ビル 3F で我町図書館の2倍位の広いフローと図書棚の高さ 150cm で館全体が見渡す背景でした。

館長が熊本の方で、質問事項に対して丁寧に回答頂きました。エリアごとに、区切られてあり児童書エリアは子供たちが利用しやすい場所づくりにしてあり親子で楽しめる空間でした。

シープラの特色はみんなで話をして飲食も OK とのことです。この取り組みを館長が取り組むときには周りから多くの反対があり、理解して貰うまで時間が係ったけど、今取り組んだ事で多くの利用者が増えた要因だと言われていました。

もう一つの気になったビジネスサポートエリアでオープンセミナースペースである、畳 10 畳位のスペースがあり開放的な空間で企業との連携セミナーなどに利用して、その中から色んな情報が得られるイベントを模様されていると聞いた。

ほとんどの図書館は静かな居場所で静かに読書をする場所としての図書館ですが、シープラは発想を変えた取り組みをされた図書館でした、大津町図書館も以前に比べたら利用しやすくなったと感じますが、是非とも大津町図書館館長もシープラの見学をそのなかで大津町図書館が取り組む事があればと思います。

泉南市立東小学校に小規模特認校の取り組みについて早朝から伺い校長先生から年間取り組みや考え方を聞き、又泉南市議会議長から泉南市全般の話と東小学校の議会としての取り組みを伺い質疑応答に入りました。

バスを降りて目に飛び込んできたのは前面芝はりの運動場でした、手入れされた芝の運動場は泉南市でも、この東小学校だけの事と説明を受けた、又、幼稚園跡地を利用した学校なので運動場も半分位の広さで管理費用も少なく済むと言われた。

この東小学校と大津町立東小学校の違いは全校児童数 78 名の中で地元が 15 名で特認 63 名と特認を利用しての生徒が多いと校長先生が言われた。まず、さわやかバスがあり通学時間帯に2路線でのバスの運行がされているのと通学費用の保護者への半額負担金助成金がある事が特認児童が通学しやすい環境にあると感じた。

この小学校も山間部にあり自然を生かした取り組みを年間を通じてされていると感じた。

特色は国際化教育での1年生からの英語活動に取り組まれている事と、研究についての中で大学教授の2名による、読解力育成の研究・推進を長年取り組みをされていると伺った。両視察先での意見交換を活発に行い、研修で得た内容をこれからの大津町にいくらかでも提言したいものと思う。